

itoshima

糸島



名勝地として知られる桜井二見ヶ浦の大婦岩に沈む夕日

「ユーモ」
福岡銀行
ブランドキャラクター



「いとゴン」
糸島市
イメージキャラクター

悠久の歴史が誇る 自然と文化

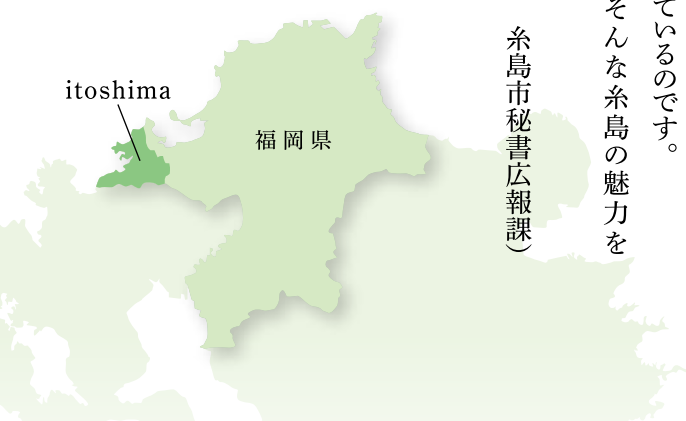
糸島市は、福岡県の北西・佐賀県との県境に位置し、玄界灘と肥沃な大地に恵まれています。

また、『魏志倭人伝』に登場する「伊都国」ゆかりの地であり、古代より玄界灘を介した国際交流を展開しながら発展してきた地域でもあります。

糸島には豊かな自然があり、活気ある人々が暮らしています。2000年の悠久の歴史は、今もなお、この地に脈々と息づいているのです。

本稿では、そんな糸島の魅力を紹介します。

(寄稿 糸島市秘書広報課)





あうほう農家の有田さんファミリー



冬は市内5ヵ所の漁港で牡蠣小屋がオープン



約800本のサクラが咲き誇る「笹山公園」



実りの秋。農作業をひと休みして団聚する様子



糸島半島の北西にある島「姫島」



「雷山千如寺」の大楓。秋は紅葉が美しい

【平原王墓出土品（国宝）】

鏡・刀・玉のいわゆる三種の神器が出土。内行花文鏡（※）は日本最大（46.5cm）。40面の埋葬量も他に類を見ない。この後、王権が成立したヤマトの地でも鏡の大量副葬が始まることから、伊都国が何らかの影響を及ぼしたと推測できる。

※八葉鏡・八咫鏡とも称され、伊勢神宮のご神体と同じ型式の鏡の可能性が指摘されている



伊都国の女王が眠る平原王墓。ここで三種の神器が出土した

古代・伊都国の地

玄

界灘に突き出し、朝鮮半島と一衣帯水の地にある糸島。

弥生時代以降、中国大陆・朝鮮半島と交流し、稲作、青銅器・鉄器文化などをいち早く受容するなど、わが国の対外交渉の拠点であった。

邪馬台国成立以前から、歴代伊都国王を中心とする統治機構のもと、すでに階層社会をも形成していた。

2世紀末の女王を葬った平原王墓^{ひらのもみ}。ここには、日本最大の内行花文鏡5面を含む40面の銅鏡、大刀、勾玉・管玉、ガラス小玉などの装身具などが副葬されていた。

女王は、日向峠に対峙して埋葬され、米の収穫期にあたる10月20日頃、この峠から昇る朝日の光が、ちょうど女王を照らすよう計算されている。

内行花文鏡は、一説には太陽を模した鏡とされる。太陽信仰による祭祀で人々を治めた、絶対なる力をもつ呪術的な女王（日の巫女）の姿を彷彿させる。まさに伊都国は、原始く古代のわが国の政治的中枢を担っていた重要な国であったのである。

【平原王墓埋葬施設の模型】

遺体を納めた木棺は朱で覆われ、銅鏡は埋葬時にことごとく故意に破碎されていた。（写真は「伊都国歴史博物館」）



【伊都国位置図】

弥生時代から玄界灘を介して先進文化を受容してきた伊都国。邪馬台国から派遣された最高官僚・一大卒がこの地で諸国を巡察し、中国・帯方郡からの使者もこの地に滞在した。





「雷山千如寺」の大楓。見事な枝ぶりで紅葉の時期は真っ赤に染まる



神聖なる雷山



十一面千手観音立像

古 来、雷神が鎮座する霊峰と崇められ、頂上には雷神社の上宮が祀られる。頂上の下には「層々岐野」と呼ばれる神功皇后伝承にまつわる草原が広がる。

千如寺は、雷山中腹に位置し、鎌倉時代には、蒙古の襲来に備えた最前線の祈祷寺院として幕府より期待が寄せられ、最盛期には300の僧坊があったと伝わる。高さ4・6mの本尊・十面千手観音立像は、大寺の隆盛を彷彿させる。

また、境内にある幹回り2・3mの県指定天然記念物の大楓は、樹齢400年を超え、秋になると色鮮やかに紅葉し、多くの参拝客が訪れる。

【雷神社】

雷山千如寺の約1km上方にあり、水火雷神、すなわち雷神を祀る。かつては福岡藩による雨乞い祈願も行われていた。入り口の観音杉と拝殿脇の大銀杏は、いずれも樹齢は推定900年で、県指定天然記念物である。



【雷山神籠石】国指定史跡

標高400～480mにある7世紀の古代山城。玄界灘を一望できる要所である。現在は谷の南北に築かれた水門が遺り、北水門の東西には、尾根頂上に向かって伸びる列石群が存在する。特に長さ12m、幅10m、高さ3mにわたり積み上げた北水門は、強固な造りを保ち、今でも3つの排水溝が機能している。





1



2



3

1 桜井二見ヶ浦 県指定名勝

古くから桜井神社の社地として神聖な場と崇敬されてきた。この2つの岩は夫婦岩と称され、高さ11.2mと11.8mで、イザナギ・イザナミの姿ともいわれる。竜宮の入り口としても神聖視されてきた。伊勢の二見浦が「朝日の二見浦」と称されるのに対し、桜井二見ヶ浦は「夕陽の二見ヶ浦」として有名で、夏至の頃に夫婦岩の間に沈む夕陽の景観は格別である。

2 桜井神社 県指定有形文化財

福岡藩第二代藩主・黒田忠行公により1632年に創建された。本殿後方にある「御神霊顕現の神窟」である岩戸宮は、1.5km先の桜井二見ヶ浦の夫婦岩に向かっている。境内には、伊勢神宮の内宮・外宮の両宮の分霊を祀る桜井大神宮もあり、パワースポットとしても知られている。

3 芥屋の大門 国指定天然記念物

玄界灘に突き出した玄武岩の多角形石柱からなる岩壁と洞窟。波の中にそびえ立つ威容は古代から信仰の対象となり、天の岩戸、竜宮の入り口とも伝わる。元寇のときのいわゆる神風は、雷山の風穴から地下をくぐり、この大門から噴き出したものとい伝えられている。



5



6



7



4

4 白糸の滝 県指定名勝



脊振山系にある羽金山（標高900m）の中腹に位置する。落差24m。6月末には5000株のアジサイが咲き誇り、夏には天然の涼を求めて多くの観光客でにぎわう。

5 フォレスト アドベンチャー

フランス発祥の本格アドベンチャー施設。自然の森を生かした森林共存型。空中滑空するジップスライドやターザンスイングなど、約2時間かけて5コースを楽しむ。

6 はろ展望台／ いきさん展望台

白糸の滝から西へ2.5km、3.5kmの地点にある。約600mの高さから、糸島を一望。晴れた日には沖に浮かぶ杵岐まで見える。

7 伊都菜彩

野菜・肉・魚・加工品・花など、新鮮かつ安全で美味しい生産物を一堂に揃える。日本最大規模の直売所で、レジ通過客数は年間約127万人。関東の飲食店など、県内外へ月に述べ100件以上の発送も行っている。

伝統行事・イベント

糸島では一年を通じてさまざまな伝統行事やイベントを行っている。気になるイベントをチェックして出かけてみよう。



10月18日 流鏝馬／桜井神社

新嘗祭にあわせ行われる古式ゆかしき行事。参道に設けた3箇所の的を、2人の武者が馬で駆け抜けながら白羽の矢で射る。



4月26日・10月25日 高祖神楽／高祖神社

500年超の歴史を誇る県指定無形民俗文化財。春と秋の二回、神楽殿にて奉納される。かがり火が揺れる中での秋の夜神楽は幻想的でもある。



12月初旬 ふいご大祭 目かくし女相撲／松末五郎稲荷神社

目隠しすることで、世渡りの難しさを表している女相撲。地域の女性の滑稽な真剣勝負に、会場からは応援と歓声が飛び交う。





10月第2日曜日 福吉神幸祭／福井白山神社ほか
五穀豊穡と大漁祈願の伝統行事。田園風景を練り歩く大名行列が見もの。
また、大漁旗で飾った漁船が海上をパレードする。



手作りのものが
いっぱい！



9月下旬 糸島クラフトフェス／志摩初
各種工房が点在する糸島。フェス3日間は作家たちが一堂に会し、
陶器・革製品・アクセサリーなど自慢の作品を展示・販売する。



毎年12月第2土曜日未明
寒みそぎ／白糸熊野神社

極寒の中、締め込み姿の男衆が奉納米の入った桶を手に川に入り、互いに水を掛け合い、無病息災・五穀豊穡を祈願する。



1月第4日曜日
百々手祭り大飯食らい／淀川天神社

山盛りご飯を食べるは盛り、食べては盛り、限界まで白米を食べることで五穀豊穡を祈る。給仕役と食べ手の攻防が笑いを誘う。



10月第1土・日曜日
糸島市民まつり

「いとしまの力」が結集し、ステージイベント、物産展、グルメランブリ、花火大会などが開催される。



1月7日 鬼すべ／老松神社

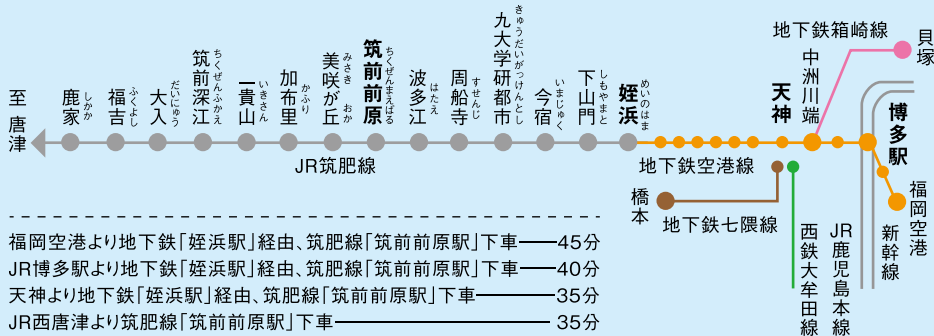
鬼に扮した男たちが、「鬼じゃ鬼じゃ」のかけ声とともに町内を回る。厄を集めた大鬼は、鬼すべ堂に追いやられ、煙とともに焦して穢れを払う。



9月上旬 サンセットライブ／志摩芥屋

1993年から開催されている福岡を代表する野外ライブ。海風を感じながら、砂浜の上でミュージシャンと一体になれるのが醍醐味。

●JR利用の場合

[illegible]

博多駅より高速バス「いと・しま号」にて前原下車一約50分 天神より高速バス「いと・しま号」にて前原下車一約38分

コンパクトで
かわいい!

